科目名	短期海外研修Ａ							年度	2025
英語科目名	Short term study abroad A							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース　1年次	必／選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本スポーツ協会公認テニスコーチ4		

【科目の目的】

海外のトップコーチから最新の指導を通じて技術、戦術、コーチングを学びます。また、海外のテニス文化に触れ、心技体と国際的な言語スキルの向上を目指します。

【科目の概要】

海外におけるテニス指導者のテクニックからテニスクラブの運営・管理について、講義と実技を通じて学びます。

【到達目標】

A.国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをより深く理解することができる。
B.最先端のスポーツ現場に触れることで、自らが高い意識をもって高い目標設定ができるようになる。
C.団体で行動する能力を身につける

【授業の注意点】

現地コーディネーター、引率教員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないでください。貴重品の管理には注意してください。特にパスポートの紛失がないようにしてください。たくさんの経験をするため過密スケジュールとなります。各自、体調管理の徹底をお願いします。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをより深く理解することができる。		国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをある程度、理解することができる。		国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツを少し理解することができる。
到達目標 B	最先端のスポーツ現場に触れることで、自らが高い意識をもって高い目標設定ができるようになる。		最先端のスポーツ現場に触れることで、高い目標設定ができるようになる。		最先端のスポーツ現場に触れることで、ある程度の目標設定ができるようになる。
到達目標 C	団体でも積極性を持って行動することができる		団体でも責任感をもって行動することができる		団体でも行動する事ができる

【教科書】

配布プリント

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	短期海外研修Ａ	年度	2025
英語表記	Short term study abroad A	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前研修	事前研修	1	渡航前研修	渡航前の事前研修により、目的、スケジュール、ルール等を理解する	2	
2	オリエンテーション	現地オリエンテーション	1	現地オリエンテーション	現地でのオリエンテーションから、研修における注意事項とスケジュールの確認をします	2	
3	異文化交流	異文化交流	1	国際交流	現地学生との国際交流からスポーツを学ぶ仲間と共に聞く・話す・伝える力を身につけます	2	
4	大学スポーツ施設見学	大学スポーツ施設見学	1	大学施設視察	現地大学内の広大なスポーツ施設を見学することで、最新の施設設備について理解する	2	
5	検体解剖学	現地解剖学実習	1	現地解剖学実習	現地での検体による解剖実習により、より高い知識を身につけます。	2	
6						2	
7						2	
8	スポーツクリニック視察	スポーツクリニック視察	1	スポーツクリニック視察	現地のスポーツクリニックを視察することで、最新のスポーツ医科学的知識を身につけます	2	
9	アスリートのリハビリ	アスリートのリハビリ	1	アスリートのリハビリ	現地におけるアスリートのリハビリテーションの最新事情を把握することでより高い知識を身につけます	2	
10	プロスポーツ施設視察	プロスポーツ施設視察	1	プロスポーツ施設視察	現地プロスポーツの施設を見学することで、最新のプロスポーツ事情についての知識を身につけます	2	
11	プロスポーツ観戦	プロスポーツ観戦１	1	プロスポーツ観戦１	現地プロスポーツチームの試合を観戦します	2	
12		プロスポーツ観戦２	1	プロスポーツ観戦２	現地プロスポーツチームの試合を観戦します	2	
13	ストレングス＆コンディショニング実技	ストレングス＆コンディショニング実技	1	ストレングス＆コンディショニング実技	現地トレーニング施設において、現地トレーナーからトレーニングを受けることで、より高度な体験をします	2	
14	フィットネス施設視察とパーソナルトレーナー視察	フィットネス施設視察とパーソナルトレーナー視察	1	フィットネス施設視察	現地フィットネス施設で、最新のパーソナルトレーニングを体験します	2	
			2	パーソナルトレーナー視察			
15	事後研修	事後研修	1	まとめ	帰国後にまとめと振り返りを行い、各自の学びを参加者全員で共有します	2	
			2	振り返り			

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等